

えびはら 一男 後援会会報

(鹿沼市議会議員えびはら一男レポート)

第 14 号(通算 22 号)

平成 23 年 8 月 11 日

連絡先 090-3149-3493

内部資料

19 年 9 月鹿沼市議会議員 2 期目に選出されて以来、全ての本会議において一般質問並びに議案質疑を

行ってきました。今回は 8 月 2 日(火)、1 時間 50 分に亘り平成「23 年度鹿沼市一般会計補正 夏休みに入り、自治会のこども達と朝のラ

予算(第 1 号)について」と「鹿沼市総合計画基本構想の策定について」議案質疑を行い、「第 6 次鹿沼市総合計画基本構想(案)について」「安全・安心な社会づくり」「教育環境の充実」について一般質問しました。



夏休みに入り、自治会のこども達と朝のラジオ体操をしています。未来を担うこども達が元気で健やかに成長しますよう、安全・安心な社会を創造していきましょう。

鹿沼市議会基本条例が制定されました。

議会基本条例調査特別委員会(えびはら一男は委員会の構成メンバー)が 15 回にわたり検討し、先進自治体の視察やパブリックコメントの集約などを経て条例案を作成しました。

議会の役割が明確にされ、議会改革を進めていく上でも、改革の方向性を明文化することは大きな意味があります。条例では、政策の背景や経緯など情報が得やすくなり、政策を計画段階から検討しなければならなくなるので、不勉強な議員には市民の目がさらに厳しくなります。これからは、議会による報告会や市民との意見交換会が予定され、市民の意見を聞き、調査研究した成果を政策として市民に再提案する『**政策形成サイクル**』の確立を目指します。

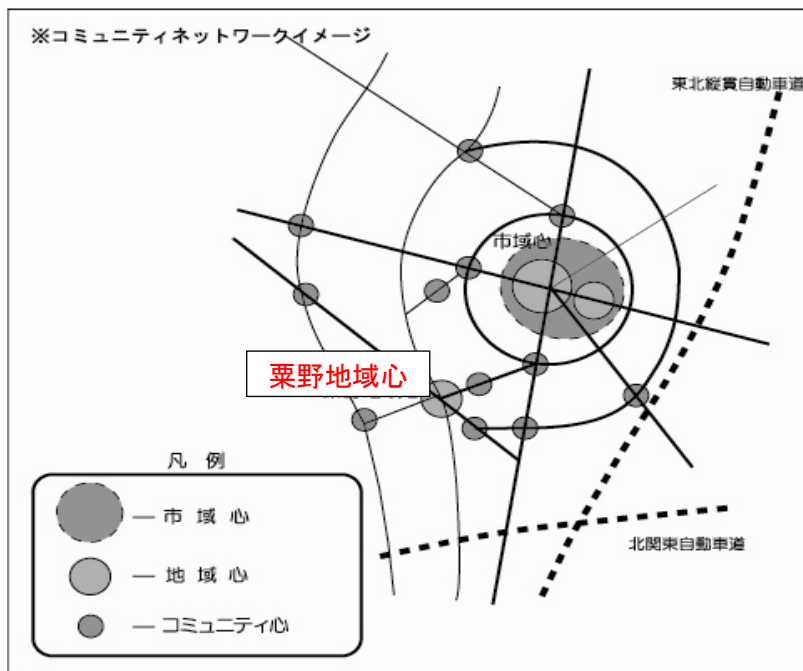
議案質疑で明らかになりました。

- 宝くじ交付金 2,500,000 円で中栗野自治会のお祭り用備品(太鼓、笛など)の購入が決まりました。
- まちの駅、新・鹿沼宿にカーブミラーなど交通安全施設が増設されます。(補正予算額 2,000,000 円)

主な一般質問の内容

第6次鹿沼市総合計画について

1. 多くの市が複数年度の計画を立案し市民の理解を得ています。鹿沼市の「実施計画」は単年度の計画です。単年度の計画を今後10年間続けそうなので、複数年度に変更を求めています。
2. コミュニティネットワークの形成において、下のイメージ図に表記してある栗野地域心の名が消されました。



合併時に約束された『新市建設計画』1年後に策定された『第5次総合計画』そして、今回の『第6次総合計画基本構想』計画ごとに栗野地域の存在が薄くならないように配慮を促し、第6次の総合計画が、「暮らしやすい地域」として大きく発展する可能性を秘めている鹿沼市の形成に結びつくよう発言しました。

3. 「基本構想」で第6次総合計画の性格を次のように述べています。

「従来の総合計画は、成長基調の性格が強く、未来への大きな夢を描いたものでありましたが、社会経済環境が大きく変化し、かつてのような成長が期待できない先行きが不透明な時代においては、現実を見据えた実効性のある計画としていく必要があります。

そのため、第6次鹿沼市総合計画では、本市の将来あるべき姿(将来像)や目標を可能な限り明示しつつ、その実現に向けたシナリオを描くとともに、持続的発展を続けるため、重点的資源配分などに考慮した中長期的な展望に立った堅実型の計画とし、効果的・効率的な施策を位置づけていきます。」

この考え方にそって「今後10年間の鹿沼市内総生産の見通し」や「これから10年間の財政計画」を明らかにするよう求めましたが、その意思がない答弁が示されました。

安全安心な社会づくり

1. 鹿沼市等は測定している**放射線量の状況**をホームページで知らせています。いずれも健康に影響をあたえる数値ではありません。しかし、放射性セシウムに汚染された稲わらを給餌(きゅうじ)させていたため、汚染された牛肉が出荷された問題や、放射性セシウムを含む腐葉土が販売された問題など、市民の健康に関する問題は勿論のこと、鹿沼市の産業にも身近で深刻な問題が提起されてきています。思わぬところで想定外の問題が鹿沼市においても出てきています。「えびはら一男」は先の定例会より携帯用放射線量測定器(サーベイメータ)を必要に応じて用意し、市民が希望する場所の放射線量を測定するよう要望していました。

「市長」は 7台の放射線量測定器の購入を検討し、市民の不安に対応したいと答弁しました。3月11(金)の大地震の時、防災行政無線が故障しており、栗野地域(旧栗野町)の市民に警報を発することができなかった。雑音の入らない、聞き取り易い放送内容、時刻を知らせるチャイムの発信を市民は望んでいます。3ヶ月の長期にわたる不具合の要因と対策について、伺います。

2. **洪水対策**として、思川向 寺橋の下流から思川と栗野 川の合流地点までの河床整備 について市に要望すると 共に、栗野地区土木事業改良期成同盟会(会長えびはら 一男)は、鹿沼土木事務所に 河川の整備を要望しました。



教育環境の充実 栗野第一小学校の改築(学校を新しく建設)について

1. 栗一小を新しく建設するにあたり、
『栗一小整備検討委員会』……現在の小学校敷地に新しい栗一小を建設することを決める。
『プロポーザル委員会』……設計業者を選定する。
『栗野第一小学校改築基本構想ワークショップ』
……基本構想の策定にあたり、意見・要望の集約を図る。

以上3つの委員会はその目的・使命が終わるごとに解散になります。

栗一小改築にあたり児童、地域にとって真によりよい校舎改築が図れるように、外構工事が完成し全ての工事が完了するまで続く、(仮称)『栗野第一小学校校舎改築を考える会』の設置を要望しました。

「教育次長の答弁」は、継続する会の設置に消極的であり、しかも基本構想策定後の栗野地区住民への説明は、要望があれば説明するという姿勢でした。

2. 栗一小的改築にあたり、現在の学校敷地の拡張は難しい考えが示されました。主な理由として、平成19年より都市計画法の改正があり、適用除外であった学校敷地の拡張が開発行為の許可の対象となったためです。

※ 資料として栗野第一小学校の学区内の皆様に、「栗野第一小学校基本構想ワークショップ」で示された基本構想の配置図(案)と校舎平面図(案)を提供します。市民の皆様のご意見、要望等をお聞かせ下さい。(連絡先 090-3149-3493)

(仮称)『栗野第一小学校校舎改築を考える会』の設立

は必要であり、地域の皆様の協力をお願い致します。

えびはら一男は議員報酬の減額と政務調査費の廃止を主張

えびはら一男後援会報第13号で記述した通り議員の活動日数は年間165日程、議員報酬は月額420,000円で報酬年額は6,836,550円です。参考とする類似団体(10万人規模の市)の最高/最低月額は460,000~312,000円です。

政務調査費として議員1人当り年額336,000円交付されていますが、会派に支給された22年度の執行額は1議員254,000円位でした。

鹿沼市の人口がさらに減少する中で、社会経済環境情勢の大きな変化と、特に財政状況の厳しさが指摘されています。議員報酬の減額、政務調査費の廃止を実施しても活発な議員活動に支障をきたす事はありません。



多様な地域、職域、意見を持った議員が自由闊達な議論を展開し、構成する合議体として、健全な議会が存続することによって、市の健全な発展も担保されますし、市長が独善に陥ることをチェックし、政策選択の伸縮性をもたらすことができます。

“えびはら一男は健全な議会の構築を目指します。”